

箸墓古墳とその系譜の大王墓（桜井市）

これは纏向遺跡から見た箸墓古墳／北側から見たところ



近づいて見たところ/前方後円墳/3世紀中葉過ぎの築造/左手が後円部、右手が前方部/左手は三輪山



大和さくらい
100選



箸墓古墳と三輪山の風景

《ビューポイント》



箸墓古墳

桜井市では、「暮らしのいい」記紀万葉 大和さくらい事業を実施し、市内外より多数の応募をいただきました。市民目線で選ばれた100選は、推薦できるよってあきの「場所」や「もの」です。美しい、雄大な、奥深いまで堪能ください。

大和は 桜のまはらば 花あなづき豊後 ふごもれる 大和しうるわし

桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会

連絡先：桜井市役所 0746-42-9111

くびれ部辺りをアップで見たところ



左手の後円部を見たところ



右手の前方部を見たところ



箸墓古墳の近くには景行天皇陵や崇神天皇陵も所在する



これは箸墓古墳を北東側から見たところで、左手前は後円部、右奥が前方部



後円部から前方部方向を見たところ



さて、これは裏手に回って南西側から前方部を見たところ



道路の先を見ると前方部からくびれ部、後円部と墳丘なりに道路がカーブしている



左手を見たところ/前方部の突端に鳥居が見える



近づいてみる



ここが拝所/倭迹迹日百襲姫命大市墓に治定されている



宮内庁管理のもと、墳丘には立ち入り禁止





これは茅原大墓古墳の墳頂から西方向に箸墓古墳を見たところ



崇神天皇陵/行燈山古墳(天理市)

ここは崇神天皇陵/4世紀前半の築造という

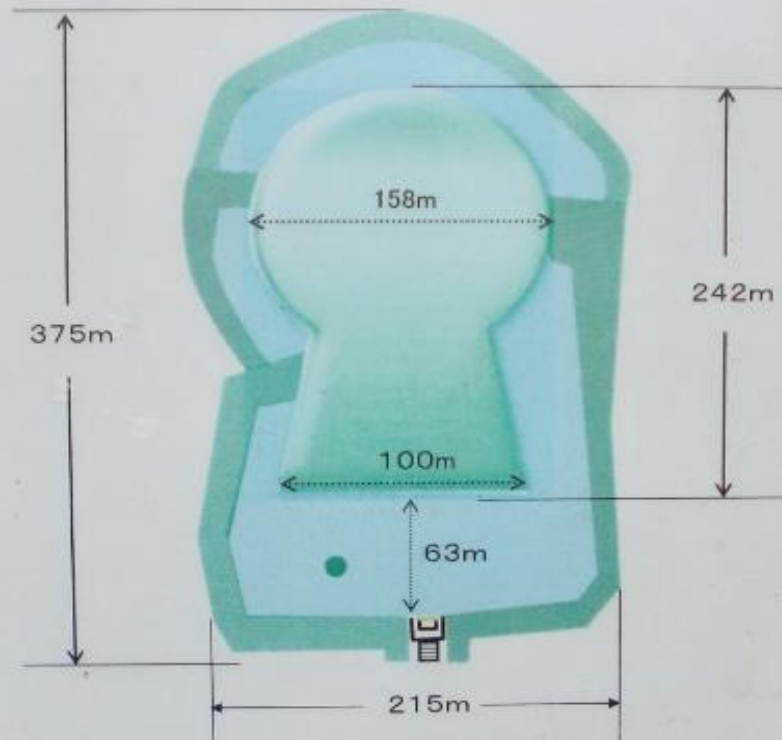


前方部の近くに前方後円墳の陪塚(図の左下)が二基あるようだ/景行天皇陵もすぐ近くに所在する



墳丘の周囲は周濠が巡っている

崇神天皇山辺道勾岡上陵(行燈山古墳)



第10代崇神天皇は第9代開化天皇の第二子で、母は皇后伊香色謎命(いかがしこめのみこと)と伝えられています。

御陵は前方部を北西に向けた前方後円墳で、大和古墳群のほぼ中央に位置しております。龍王山西麓の緩斜面に築かれたため、東西で高低差が生じており、そのため周濠が合計3ヶ所の渡土堤によって区画されています。

墳丘は後円部・前方部共に3段築成と考えられており、埴輪・土器が出土しています。外周には高く積み上げられた堤が廻りますが、これは江戸時代末に柳本藩が行った、修陵事業によるもので古墳築造当時の姿とは異なっているようです。

正面の木々のエリアが前方部で、手前の高い土手(堤)は江戸時代の改変とのこと



宮内庁管理のもと、墳丘には立ち入り禁止



土手(堤)の上にある鳥居





正面は前方部



左手を見たところ



右手を見たところ



後を振り返って左手を見ると陪塚がある/南アンド山古墳(全長60m)/正面が前方部で右奥が後円部



右手にはもう一基の陪塚がある/北アツ山古墳(全長120m)/左手が前方部、右手が後円部



景行天皇陵/渋谷向山古墳(天理市)

前方が景行天皇陵/4世紀後半の築造という/北西側から前方部を見たところ



鳥居が見える/正面は西側から見た前方部





宮内庁管理のもと、墳丘には立ち入り禁止





右手を見たところ/周濠が巡る



前方部を南側から見たところ/右手は後円部方向



右手を見たところ/前方部からくびれ部、後円部方向を見たところ/周濠は渡土堤によって区画されている



左手を見たところ



参考ホームページ

<http://inoues.net/club/hashibaka.html>

http://www.bell.jp/pancho/k_diary-10/2014_03_19.htm

<http://www.makimukugaku.jp/info/iseki.html>

<http://blog.livedoor.jp/ncc74210/archives/52716848.html>

<http://small-life.com/archives/08/02/1110.php>

http://kanko-tenri.jp/kanko_guidance/nanbu/suzinryou_kofun.html

http://kanko-tenri.jp/kanko_guidance/nanbu/keikouryou_kofun.html



↑ 倭迹迹日百襲姫命大市墓/箸墓古墳